

宮永岳彦記念美術館だより

2017 **12**月



発行 / 秦野市立 宮永岳彦記念美術館

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2 TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

宮永岳彦 本を描く

2017年9月21日(木) ▶ 2018年5月20日(日)

▶▶▶▶ 展示作品より今月の一点 ▶▶▶▶
《 ROKUMEIKAN 風 》



三島由紀夫原作の舞台『鹿鳴館』にインスピレーションを感じた宮永は、豪華絢爛なドレスをまとった女性像を数多く描き、それは鹿鳴館シリーズと称されました。

この「風」は、宮永 62 歳、油絵に専心し 12 年目に描かれた同シリーズの作品で、鏡によって女性の後姿と正面を同時に描いた構図、女性の髪やドレスのレースの

柔らかさを表現するほかしの技術に油絵での宮永芸術の円熟が見られます。また、女性のふとした瞬間のチャーミングなしぐさを捉えた楽しい作風は、グラフィックデザイナーとして描いたポスターや週刊誌の表紙画の生き生きとした女性像を思い起こさせます。

油彩画 1981 年 100F

観覧料・一般 300 円 (弘法の里湯利用者は 100 円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方 1 名は無料

◆ 今月の一冊 ◆

舟橋聖一は、芥川賞の選考委員を務めた昭和の文壇の重鎮で、初代のNHK大河ドラマ、大老 井伊直弼の生涯を描いた『花の生涯』の原作者として知られています。

『夢でありたい』は、現代を生きる男女の恋愛小説で、巧みな描写が、読者を物語に引き込みます。

宮永の表紙画は、異なる弧を描き舞いながらも今まさに出会おうとする 2 匹の蝶で物語を象徴しています。



舟橋聖一著『夢でありたい』(新潮社) 制作年不明



美術館へのアクセス

- ◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩 2 分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用 40 台
1 時間 150 円、以降 30 分ごとに 100 円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

12 月の休館日 : 4 日(月) 11 日(月) 18 日(月) 25 日(月)
年末年始休館日 : 12 月 28 日(木) ~ 1 月 2 日(火) 4 日(木)

市民ギャラリーのご案内 入場無料

第 8 回 鶴巻デジタル写真教室 写真展

11 月 28 日(火) ~ 12 月 3 日(日)
10:00 ~ 17:00 初日 13:00 から 最終日 16:00 まで
この 1 年間その時々表情を写しとった作品を見てください。ご覧になって、ぜひ感想などをお聞かせ願います。

日本画府 & 弘法フォトサークル 写真部

12 月 5 日(火) ~ 12 月 10 日(日)
10:00 ~ 17:00 初日 13:00 から 最終日 16:00 まで
写真に魅せられ「一期一会の出会い」を求めて幾年月。数少ない出会いを精一杯切り取った作品です。ご高覧を。

2018.1 月の市民ギャラリー展覧会の予定

つるまきこども園 わくわく作品展	1 月 26 日(金) ~ 1 月 28 日(日)
ふれあい写真クラブ	1 月 30 日(火) ~ 2 月 4 日(日)

※12月1日(金)より2018年6月分までの予約を受け付けています。

クリスマス ★ ギャラリーコンサート

とき 12 月 23 日(土・祝) 午後 2:00 ~ (午後 1:30 開場)
ところ 宮永岳彦記念美術館 常設展示室 料金 300 円
問合せ・申し込み 生涯学習文化振興課 (☎84-2792)
* 12 月 1 日(金)より受付
* 定員 50 名 (申し込み先着順)

出演者 松平 忠智

市内在住のアーティストによる
アコースティックの弾き語り。
宮永岳彦の世界と
音楽のコラボレーションで
贅沢なひとときをお楽しみください。



市所蔵浮世絵展 成年と干支にちなんだ浮世絵

とき 2018 年 1 月 3 日(水) ~ 8 日(月・祝) 入場無料
午前 10:00 ~ 午後 5:00 ※休館日: 4 日(木)
ところ 宮永岳彦記念美術館 市民ギャラリー

干支は、年賀状に描かれるなど、現代でも広く受け継がれています。

本展では、来年の干支である成年にちなみ、『南総里見八犬伝』の浮世絵を始め、犬に関わる浮世絵、十二支の動物の浮世絵を御紹介いたします。

江戸っ子も身近に感じていた動物たちの愛らしい姿をお楽しみください。

